

愛媛県新広域道路交通ビジョン(令和3年4月)の概要

1. 愛媛県の将来像

【愛媛県の現状】

- (1) 人口の現状
 - ・ 全国平均よりも早い人口減少・高齢化
- (2) 産業活動の現状
 - ・ 人口減少ながら所得は全国平均と同程度、出荷額は全国平均以上の伸び
 - ・ 愛媛が誇る日本一・世界一の企業、農林水産物
- (3) 交通の現状
 - ・ 自家用車依存の高さ
 - ・ 四国8の字ネットワーク・本四架橋の整備に伴う移動人数の増加
- (4) 物流の現状
 - ・ 増加する物流貨物
 - ・ グローバル化する物流
- (5) 観光の現状
 - ・ 豊富な観光資源
 - ・ 増える外国人観光客
- (6) 災害の現状
 - ・ 今後30年間に高い確率で襲来する巨大地震
 - ・ 土石流・崖崩れの危険性が高い地域
 - ・ 局地化・集中化する豪雨
 - ・ 冬期の雪害

【愛媛県の将来像】

<基本理念>

愛のくに愛顔あふれる愛媛県

<目指すべき将来像>

- ①次代を担う活力ある産業を“創る”
- ②快適で安全・安心の暮らしを“紡ぐ”
- ③未来を拓く豊かで多様な『人財』を“育む”
- ④調和と循環により、かけがえのない環境を“守る”

2. 愛媛県の交通課題と既存取組

【課題】

- ・ 大都市と変わらない渋滞区間の存在
- ・ 死傷事故件数・死者数は減少傾向であるが、全国より高い事故率
- ・ 重要性の高まる公共交通との交通結節機能
- ・ ミッシングリンクと津波浸水想定箇所
- ・ 四国唯一の原子力発電所
- ・ 頻発する災害により交通遮断が多発
- ・ 老朽化する道路インフラ

【既存の取組】

- ・ 今後の道づくりの方向性を示す「愛媛道ビジョン2016」を策定
- ・ 被災状況に即応した道路啓開を行うため「愛媛県道路啓開計画」を策定

3. 愛媛県の広域的な道路交通の基本方針

「愛媛道ビジョン2016」で設定した3つの基本方向と7つの実施施策のうち、広域道路ネットワーク、交通・防災拠点、ICT交通マネジメントの観点から相互に関係する実施施策を、下表のとおり、愛媛県の広域的な道路交通の基本方針として整理します。

基本方向	実施施策	広域的な道路交通の検討視点		
		広域道路ネットワーク	交通防災拠点	ICT交通マネジメント
Ⅰ 命を守る道づくり				
	(1)高速道路ネットワークの早期形成と活用 ○ミッシングリンクの解消に向けた整備 ○地域高規格道路の整備 ○暫定2車線区間における4車線化 ほか	●	●	
	(2)災害に備える道路の整備 ○原発避難道路の整備 ○緊急送道路の整備 ○橋梁の耐震化、トンネル保全、法面等防災 ほか	●		
	(3)いつでも安心して使える道路の保全と管理 ○道路施設におけるメンテナンスサイクルの構築 ○適切な維持管理、修繕・更新等の計画的な実施			
Ⅱ 暮らしを支える道づくり				
	(4)いつも利用する生活基盤の整備 ○生活拠点を結ぶ地域道路ネットワークの整備 ○魅力ある集約型街づくりと連携した街路整備 ほか	●		
	(5)都市環状道路等の整備 ○市街地における渋滞を解消する環状道路、立体交差、バイパスの整備 ○空港・港湾等の交通拠点アクセス道路の整備	●	●	
Ⅲ 未来を拓く道づくり				
	(6)産業の活性化や地域づくりを支援する道路の整備 ○地域経済を支える産業の活性化を支援する道路整備 ○交流人口の拡大を図る観光振興を支援する道路整備 ほか		●	
	(7)多様な利用形態に応じた道路の活用 ○愛媛マルゴト自転車道の整備 ○ICTの活用による道路管理の高度化 ほか		●	●

●: 相互に関係しているもの